

大分なつほのか通信 Vol.10



「なつほのか」の収穫風景

2022.10月発行

実りの秋を迎え「なつほのか」の収穫が進んでいます。先月の台風14号による被害もみられますが、それまでの生育は良好だったため、無事に収穫できた「なつほのか」の収量・品質は、昨年度に引き続き良い結果となりました。



安岐町（9月28日）

「なつほのか」の作付面積

令和4年産より本格的な導入を行った「なつほのか」の県内の作付面積合計は1,152ha（暫定値、県水田畑地化・集落営農課調べ）となり、「ヒノヒカリ」「ひとめぼれ」に次ぐ県内3番目の面積となりました。

「なつほのか」を副知事に贈呈しました！



JAおおいたが10月4日に「なつほのか」の認知度向上を高めようと、尾野副知事に試食を振る舞い、新米を贈呈しました。

当日は杵築市内の農事組合法人「こめ・こめ・くらぶ」の岩尾組合長や同JAの平間代表理事理事長、「しんけんうまい」大分県産

産米推進協議会の岩崎会長（JA大分中央会参事）などが参加しました。

試食した尾野副知事は「甘く、口触りも良い」との感想で「なつほのかの魅力を広めていく」とのコメントもありました。



種子や苗についてはお近くの農協もしくは集荷団体等にお問い合わせ下さい。

作成者：大分県農林水産部 水田畑地化・集落営農課（☎097-506-3596）
農林水産研究指導センター 水田農業グループ（☎0978-37-1160）

